

やまなしの福祉

11 No.344
2018
月号



写真：The Six Sense に
ご来場いただいたみなさん



特集

ゲームで体感&気づき！ 福祉・介護の仕事に触れる ～Six Sense～

P5 各種イベントの開催報告と告知
P8 介護保険制度の変更点について

P9 『認知症地域公開講座』の開催について
P10 ボランティアセンターの紹介

Six SENSE

ゲームで体感&気づき! 福祉・介護の仕事に触れる

「The Six SENSE～医療福祉系シミュレーションゲーム～」

ゲームを通じ、福祉・介護の仕事を広く知ってもらおうイベント「The Six SENSE～医療福祉系シミュレーションゲーム～」(山梨県社会福祉協議会主催)が7月29日県立図書館で開催されました。今年で3回目になる同イベントは、タブレット端末などを駆使し、幅広い世代が楽しみながら気軽に福祉について学ぶことができました。

「若い世代に福祉を知ってもらいたい」

音楽×アート×医療福祉をテーマに活動するNPO法人「Ubdobe(ウブドベ)」が企画制作し、県社協の主催で開催された今回のイベントは今年で3回目の開催となりました。NPO法人「Ubdobe」は、今回の企画を通して福祉・介護の世界に興味を持ち、将来の選択肢の一つにしてほしいといいます。また、運営には福祉関係の学生や福祉の世界で活躍する専門家がボランティアとして参加しました。

STORY

ある日のこと。

偶然最新型のタブレット型ゲームを手にしたあなたたちは、電源を入れた瞬間、

ゲームの中に吸い込まれてしまった…!

目の前に広がるのは、知らない風景。普段とは全く違う自分の体。

一元の世界に戻りたいのならば、「たすけびと」たちと出会い「6つのセンス」を手に入れろ—

謎のガイドから与えられた言葉を手掛かりに、あなたたちは冒険の旅へと繰り出す。

果たして「たすけびと」とは何者なのか。

そして「6つのセンス」の正体とは…。

仲間たちと協力し、それぞれの能力を活かしながら、『THE Six SENSE』を攻略せよ!

体験ブース

01

言語・聴覚障がい体験ブース



ろう学校を再現したブースで声以外の方法で指示されたメッセージを伝えるなど、音が聞こえない状態を体験します。また、言語聴覚士が職業について教えてくれたり、言語聴覚をサポートする最新の機器に触れるなど、最新のテクノロジーと聞こえない不自由さを体験しました。

02

身体障がい体験ブース



サッカー場を再現したブースでサッカーにトライ。ただし、「moff」という道具を使い片足の可動域を制限。理学療法士の説明を受けながら動きが制限された時の不自由さを体験しながら、理学療法士という職業への理解も深めました。

03

麻痺・リハビリ体験ブース



リハビリ施設を再現したブースでは、作業療法士と一緒に空気圧の力で指の曲げ伸ばしの動作を助ける手袋「パワーアシストグローブ」を使い、実際に目の前にあるおもちゃを握る動作に挑戦しました。またリハビリや作業療法士の仕事についても学びました。

04

情報伝達体験ブース



街のスーパーという設定のブースです。言葉を発せず、ボディランゲージもできない。目線だけで欲しい物を伝えることを「OriHime」というロボットを使い体験しました。体験中は介護福祉士が寄り添いサポートをしてくれます。ロボットや介護福祉士がサポートすることで困難なことが出来るようになる喜びも体験しました。

05

視覚障がい体験ブース



福祉用具店を再現したブース。視力が悪い状態を再現し、光で網膜に映像を映し出すメガネ型の機械「QD LASER」をかけてイラストを見るなどの体験をしました。その他にも福祉・介護の現場で役立つ便利グッズが展示されており、福祉用具専門相談員から使い方などを学びました。

06

ラストミッション



イベントスペース奥に隠された部屋で行われるラストミッション。「きこえず」「あるかず」「みえず」の3種類のミッションから1つを選んで挑戦します。ミッションは、社会福祉士のサポートのもと、これまでのブースでの体験(センス)を生かすことでクリアできるようになっています。ここでは、福祉の仕事についての理解を深めることもできました。



GOAL!!



ラストミッションをクリアすればゴールです。ゴールの部屋ではゲームのエンディングを見ることができます。



ま と め

各ブースで出会った「言語聴覚士」「理学療法士」「作業療法士」「介護福祉士」「福祉用具専門相談員」「社会福祉士」、6人の「たすけびと」のサポートにより自身の身にせまる様々な障壁を乗り越えTHE Six SENSEを攻略。6つのミッションを通じてサポートされる喜びや、サポートをすることの大切さを知り、これまで以上に福祉・介護の仕事を身近に感じるようになってきた様子です。「ツライ」「キツイ」「難しい」という福祉・介護のイメージを一新するイベントとなりました。

「観光ボランティア入門講座」を開催しました！

山梨県ボランティア・NPOセンターでは、6月から8月にかけて「観光ボランティア入門講座」を全4回開催しました。この講座は、観光ボランティア活動への理解を深めるとともに、学んだ成果を地域のボランティア活動に活かしていただくことを目的としており、「甲州市コース(2回)」と「笛吹市コース(2回)」の2カ所で開催しました。



観光ボランティア団体による講義の様子



観光地の現地学習の様子
(笛吹市:岡銚子塚古墳)

各コースとも、第1回目は市内の観光情報や観光ボランティア団体の活動状況について学ぶ座学、第2回目は市内観光地の現地学習を行いました。現地学習では、甲州市コースは「恵林寺周辺」、笛吹市コースは「甲斐国分寺跡及び岡銚子塚古墳」で学習を行いました。受講者からは、「歴史文化について詳しく説明いただき、勉強になりました。」「多くの史跡を紹介してもらって良かったです。」といった声が寄せられ、充実した講座となりました。

「やまなし市民活動交流フェスタ」を開催します！



山梨県では、県の誕生と発展を祝う「県民の日」の記念行事を毎年開催しており、今年は11月10日(土)・11日(日)に小瀬スポーツ公園にて開催します。山梨県ボランティア・NPOセンターでは、同記念行事の一環として「やまなし市民活動交流フェスタ」という広場を設けています。

フェスタの様子



今年は、県内のボランティア団体やNPO法人など12団体が出展を予定しており、パネル展示や体験コーナー、軽食や雑貨の販売などを行います。ボランティアや市民活動に関心のある方をお待ちしています。

やまなし市民活動交流フェスタに関する詳細は下記へお問合せください。

第55回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会を開催しました!

7月12日(木)・13日(金)の2日間にわたり「第55回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会」(主催:同実行委員会、関東ブロック社協職員の会連絡会)を甲府富士屋ホテルにて開催しました。

12年振りでの山梨県開催となった当日は、関東エリアの1都10県から311名の都県・市区町村社協職員が参加し、山梨県開催テーマ「〇〇〇を^{はぐ}む」に沿った講演会、分科会(6分科会)が開催されました。

分科会では、これからの社協活動のあり方や、社会福祉協議会が直面する諸課題について、それぞれの地域から持ち寄った実践事例を参考に研究・協議が行われました。

県内からも実行委員、運営協力をいただいた市町村社会福祉協議会職員など101名が参加し、県外の社協の取り組みについての情報交換と、他県社協職員との交流を深めていただきました。2日間のプログラムを無事終了し、次の開催幹事である東京都の実行委員会へバトンを引き継ぎました。



第66回山梨県社会福祉大会を開催します!

県内の社会福祉関係者が一堂に集まり、これまで社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、近年、地域社会の希薄化が社会課題となっている状況を踏まえ、子どもへの関わりを通じたまちづくりやこれからの地域社会を考える記念講演を行います。

どなたでも参加できますので、参加希望の方は山梨県社会福祉協議会までご連絡ください。



第65回大会の様子

期日 平成30年11月28日(水)

開場 午後12時30分

会場 コラニー文化ホール 大ホール
(山梨県立県民文化ホール)

主催 山梨県社会福祉協議会
山梨県共同募金会

後援 山梨県、山日YBS厚生文化事業団

内容 **第1部 式典**(午後1時30分～2時30分)
・社会福祉関係者の表彰状・感謝状の贈呈を行います。

第2部 記念講演(午後2時30分～3時30分)
講師 特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉
常務理事 ^{にしかわ} ^{ただし} 西川 正さん
演題 「子どもからつながる地域づくり」
～住民参加のまちづくり～

問い合わせ先 総務企画課 TEL:055-254-8610

アンガーマネジメント研修

感情のコントロール の仕方を学びました😊

満員
御礼

大盛況でした!!

平成30年9月28日(金)に山梨県社会福祉協議会にて、福祉事業従事者を対象に、「アンガーマネジメント研修」を開催しました。

アンガーマネジメントは「怒らない方法」を学ぶのではなく、「怒る必要があるかを正しく見極め、怒るべき時に上手に怒る術」を学ぶ研修で、怒りの感情から突発的に起こした行動や言動で後悔しないようにするためのものです。

イライラや怒りの仕組みの基本的な考え方から、自分自身の感情の特性や、感情のコントロール方法について理解を深めました。また、「感情をコントロールする3つの暗号」の他、「怒りのポキャブラリー」、「部下がついていきたくなくなる叱り方」などをグループワークや、個人ワークを通して学びました。

最近起こった怒りをグループで共有した際には、みなさん非常に良い笑顔で話をしており、受講者の多くは「一時の怒りは振り返ると他愛の無い出来事で、笑い話なんですね」と「怒り」について楽しく学んでいました。

福祉の就職総合フェア inやまなしを開催致しました!



平成30年8月9日(水)に、県内で唯一の福祉・介護・保育専門の就職相談会である「福祉の就職総合フェア inやまなし」をアピオ甲府にて開催いたしました。高齢者・障害者施設をはじめ、保育・児童関連施設など67法人がブースを設けました。専門学生や大学生を中心に、福祉の仕事に就労を希望する参加者が、興味や関心のあるブースを訪問し、人事担当者から業務内容や労働条件、求める人物像について詳しい説明をうけていました。

相談会の前には、一般社団法人 山梨県介護福祉士会 理事 橋本仙澄さんによる「福祉・介護の魅力について」と題した講演も行われました。橋本さんは、介護福祉士として介護の仕事に従事したあと、社会福祉士の資格を取得し、現在は、障害者施設の相談支援専門員として相談業務に携わっています。

福祉は、幸せに向き合える仕事、人として成長できる仕事と、自身の経験を交えて話し、福祉の仕事を通じて色々な人と関わられることをぜひ楽しんでほしいと、福祉・介護の魅力について語ってくれました。



平成30年度から 介護保険制度が一部見直されました

Point
1

本年8月から介護保険の利用者負担割合の上限が3割になりました。

Point
2

同じく10月から福祉用具貸与価格については、適正な価格を確保するため国が全国の平均価格を公表することになりました。

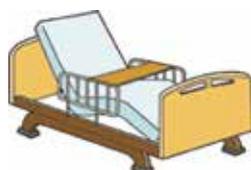
Point
3

また用具の貸与を行う際、貸与事業者は全国平均貸与価格とその事業者の貸与価格の両方を利用者に説明します。併せて、機能や価格帯の異なる複数の商品を提示します。

制度のあらまし

① 福祉用具の貸与(レンタル)

- ・他の在宅サービスと合わせ、要介護度状態区分別に1ヶ月の支給限度額が決まっています。
- ・対象となる福祉用具は車いす、介護用ベッド、歩行補助つえなどです。要介護度状態区分に応じて対象となる用具が異なります。(ただし一定の条件に該当する場合は例外があります)



② 福祉用具の購入

- ・腰掛便座、入浴補助用具などの福祉用具が購入できます
- ・支給限度額は年間10万円で、10万円を超えた部分については全額自己負担となります。
- ・いったん全額を支払った後、自己負担分を除いた金額が給付されます。



③ 住宅改修

- ・要介護度状態区分にかかわらず支給限度額は20万円です。20万円を超える部分については、全額自己負担となります。
- ・利用は原則として1回です。ただし、20万円の範囲内であれば複数回に分けた工事が可能です。



※貸与価格の詳細は公益財団法人テクノエイド協会のホームページをご覧ください。

<http://www.techno-aids.or.jp/tekisei/index.shtml>



「認知症地域公開講座」 開催のお知らせ

介護実習普及センターでは、認知症について関心のある方、また認知症の方を支えたいと考えている方に対して、認知症の理解や認知症になっても地域で支え合う方法について学びを深めることを目的に県内4ヶ所で公開講座を開催しています。

1 道志村【水源の郷やまゆりセンター】

平成30年9月22日(土)、「どうし健康まつり」に併せて開催しました。日下部記念病院院長の久保田正春先生から、認知症の病状についての説明や早期発見・早期治療の大切さなどについて講演していただきました。



道志村での様子

今後の開催予定

2 昭和町【昭和町総合会館】

平成30年11月21日(水) 13:30 ~ 16:00

- ① 昭和町の認知症に関する取り組みについて
 - ② 講演 「『まちがえちゃったけど、まあ、いいか』と言える社会に～“注文をまちがえる料理店”が教えてくれたこと～」
講師 一般社団法人 注文をまちがえる料理店 常務理事 小国 士朗 さん
- ・ 認知症関連福祉用具の展示を併せて行います。

※参加には申し込みが必要です。

申し込み先 昭和町地域包括支援センター TEL:055-275-4815

3 韮崎市【韮崎市民交流センター ニコリ】

平成30年12月9日(日) 13:30 ~ 16:00

- ① 韮崎市の認知症に関する取り組みについて
 - ② 認知症サポーター養成講座 講師 秋山脳外科 秋山 巖 先生
 - ③ 認知症予防体操 甲州デイサービスセンター韮崎事業所 作業療法士 森 彰司 先生
- ・ その他、韮崎市内認知症カフェなどグループの紹介、認知症関連福祉用具の展示を行います。

※参加には申し込みが必要です。

申し込み先 韮崎市地域包括支援センター TEL:0551-23-4313

なお、今年度は甲府市でも開催を予定しています。(日時会場未定)

問い合わせ先 介護実習普及センター TEL:055-254-8680



南アルプス市 社会福祉協議会

南アルプス市社会福祉協議会では、だれもが安心して暮らせるまち「あったか色のまちづくり」を地域の皆さまとともに進めており、各種事業を通して人材の育成、勉強会などを企画しています。

人材育成の機会

- ふくし勉強会
- 社会参加セミナー

市内の実際のふくし問題をもとに考えるふくし勉強会や団塊の世代のこれまで培った経験を地域へ活かすきっかけの会である社会参加セミナーを実施しています。

社会参加セミナーpart1の「私のしたいこと」を宣言した様子。



ボランティア団体が生活困窮者の障子張りをしている様子。

ふくし人材活躍の場

- ふくし生活支援サービス
- 各種ボランティア相談
- ボランティア団体、サロン団体活動助成金
- 介護支援ボランティアポイント制度

人材育成の場などから学んだ市民のそれぞれのオモイを形にするために活躍の場を市民とともに考え、立ち上げ実施しています。また、制度の狭間、地域との狭間で生きづらさを抱えている方を支援する有償サービスや高齢者本人の介護予防活動にポイントを付与する事業、さらには、団体への活動に赤い羽根共同募金配分金・社協会費を用いて助成をしています。

防災をキーワードに地域づくり

- 防災ボランティア育成
- 防災講話
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練

被災地での経験をもとに各種人材育成や防災講話(年間100件以上)を行っています。被災地支援では市民の方と西日本豪雨災害被災地の倉敷市で支援活動を行いました。

西日本豪雨災害時に倉敷で活動する南アルプス市のボランティアの様子。



小学校でふくし教育を行う社協職員。

児童・生徒へのふくし教育

従来の車いす、高齢者疑似体験だけの体験学習で終わらせない、ふくし教育を実施。地域の方々の協力を得ながら小中学生へ「地域の一員として」のふくし教育を実施しています。

上記以外にも様々な事業を行っております。社協ホームページもしくはfacebookページをご覧ください。

南アルプス市社会福祉協議会 業務時間：月～金曜日 8:30～17:15

住所：南アルプス市鏡中條1642-2

TEL：055-283-8711

<http://www.minami-alpsshakyo.or.jp/>

FAX：055-283-4167

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

保険金額・年間保険料(1名あたり)

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)		
年間保険料	基本タイプ	350円	510円	
	天災タイプ(*) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円	

(*)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を選定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

● この案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

善意をありがとう

タオル等のご寄贈

一般社団法人山梨県法人会連合会様、公益社団法人甲府法人会様(いずれも芦澤敏久会長)より、会員の皆様から寄せいただいたタオル、石けん、ティッシュ、使用済み切手等の寄贈をいただきました。

お預かりした寄贈品は、福祉施設で活用いただきます。たくさんの善意をありがとうございました。



山梨県法人会連合会 高野孫左エ門 副会長(右)

この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。



貸し出し 図書紹介

オールカラー介護に役立つ！ 写真でわかる拘縮ケア

著者 田村正隆

発行所 株式会社 ナツメ社

〒101-0051

東京都千代田区

神田神保町1-52

ナツメ社ビル1階

Tel(代表) 03-3291-1257 fax 03-3291-5761

ホームページ <https://www.natsume.co.jp/>



拘縮ケアは、すべての高齢者介護の基本のひとつです。本書では、介護する人も、される人もラクになる予防と改善法をやさしく図解してあります。からだの動かし方、クッションのはさみ方、ベッドから車椅子への移し方など、ポイントを丁寧に説明していますので現場の介護職の方にお勧めの一冊です。

このほかにも介護・看護・福祉についての本(約300冊)やビデオ・DVD(約200本)を貸し出しております。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。
☎055-254-8680

LINE@
友だち募集中。



友達登録で

人材センター情報をGET!!

山梨県福祉人材センター

福祉のお仕事

FUKUSHI-JOB SEARCH

モバイル版はQRコードから!

<http://www.fukushi-work.jp/>



「福祉のお仕事」ホームページは、福祉・介護の求人情報をお探しいただけるほか、求職票の登録や希望する求人に応募することができます。また、法人・事業所登録をすると、求人をホームページに公開する事もできます。

福祉のおしごと マッチングカフェ

採用予定のある事業所と、お仕事を探しているあなたをつなぐ、個別面談・相談会を行います。

11月の予定 7日(水) 介護老人保健施設 ひばり苑
14日(水) 山梨県立育精福祉センター成人寮
21日(水) なかみちの里
28日(水) 障害者支援施設 かじか寮 他

12月の予定 5日(水) 山梨県立青い鳥老人ホーム 他
12日(水) 山梨県立あけぼの医療福祉センター
19日(水) 千代田荘
26日(水) 株式会社やさしい手甲府

時間 14:00~16:00
会場 福祉人材センター
山梨県福祉プラザ4階
お問合せ先 福祉人材センター
☎055-254-8654



幼稚園 福祉施設等でも活躍!
ウイルスによる食中毒の対策に!

林洪パワー製剤
2012.9 特許取得

アルタンノロエース

食品や調理器具をはじめ、施設内の人が手をふれる場所全ての衛生管理に

アルタン 検索

現場の声をカタチに...いつもアルタンから。
アールエス株式会社
東京都大田区東横谷 3-1-10 TEL 03-3743-5705

広島大学との共同研究で開発されたエタノール製剤・食品添加物です。

地域別小規模就職相談会を開催します

地域を限定して仕事を探したいあなたを応援します。参加費、事前申し込みは不要です。

対象エリア 峡東エリア (この地域の求人)
日時 11月22日(木) 13:30~15:30
会場 山梨県福祉プラザ 4階会議室 (甲府市北新1-2-12)

※参加事業所は、各開催日1週間前より山梨県社会福祉協議会ホームページに掲載します。
※詳細についてはお問い合わせください。

お問合せ先 福祉人材センター ☎055-254-8654



関自共の
自動車共済

団体割引 10%
福祉施設割引 10%

*団体割引は共済契約者、被共済者が当組合の規定を満たす場合のみで、台数規模と損害率により決定し、毎年見直されます。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部 甲府市飯田4-4-2 TEL 055-237-8331 FAX 055-237-8332